

# 新型コロナウイルス感染症対策のお知らせ

No.24 令和3年5月16日発行 洞爺湖町新型コロナウイルス対策本部

## 北海道に緊急事態宣言発令！

### 【北海道における緊急事態措置】

対象区域	特定措置区域
	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、小樽市、旭川市
対象区域	措置区域
	特定措置区域以外の市町村（洞爺湖町は措置区域）
期間	令和3年5月16日（日）～5月31日（月）

### 【道民及び道内に滞在している皆様への要請（措置区域）】

要請内容	<p>（外出の際は）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆不要不急の外出や移動を控える。特に20時以降の外出を控える。加えて、特に週末の外出を控える。</li><li>◆不要不急の道外への移動、特に緊急事態措置区域（緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の区域）との往来は厳に控える。</li></ul> <p>（飲食の際は）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆感染防止対策が徹底されていない飲食店等や営業時間短縮に応じていない飲食店等の利用を控える。</li><li>◆「黙食」を実践する（食事は4人以内など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用）。</li><li>◆路上・公園等における集団での飲酒など、感染リスクが高い行動を控える。</li></ul>
------	---

洞爺湖町新型コロナウイルス対策本部において、町内の公共施設の利用休止を決定しました。（緊急事態宣言に伴う北海道からの協力依頼）

利用休止期間：緊急事態宣言発令の期間（5月16日から）

### 【利用休止施設】

施設名称	担当・連絡先
さぽーとステーションゆうあいトレーニング室	健康福祉センター (76-4006)
洞爺ふれ愛センタートレーニング室	
地域交流センター	
子育てサロン（地域交流センター、洞爺ふれ愛センター内）	
地域食堂ほのぼの	健康福祉課 (74-3001)
洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」	
あぶた体育館	社会教育課 (74-3010)  【貸し出しに関する電話予約】 あぶた読書の家 (76-2100)
母と子の館	
虻田ふれ合いセンター	
読書の家（あぶた・みずうみ） ※電話受付で貸し出し・返却対応（閲覧不可）	
学校開放（各学校グラウンド・体育館）	
入江・高砂貝塚館	
虻田郷土資料館	
虻田テニスコート	
洞爺湖文化センター	
サミット記念館	
洞爺湖ビジターセンター・火山科学館	
洞爺財田自然体験ハウス	観光振興課 (75-4400)
中島・湖の森博物館	
夕日ヶ丘パークゴルフ場	
グリーンステイ洞爺湖	
月浦森林自然公園	
月浦運動公園（ポロモイスタジアム）	
西山山麓火口散策路	
金比羅火口災害遺構散策路	
噴水広場	
足湯（洞龍の湯・薬師の湯）	
洞爺駅交流センター会議室	

施設名称	担当・連絡先
町内各集会所	住民課（74-3002） 虻田・温泉地区 庶務課（82-5111） 洞爺地区
財田キャンプ場（土間体育館を含む）	庶務課（82-5111）
洞爺ふるさと交流センター	
洞爺ふれあいパーク	
洞爺総合センター	
マリジェット洞爺地区動力船乗り場	
洞爺湖カヌー体験ハウス	
農業研修センターアグリ館・とれた集会施設	農業振興課（89-3000）
洞爺湖芸術館	洞爺湖芸術館（87-2525）

## 【利用できる施設】

施設名称	担当・連絡先
洞爺いこいの家 11時～18時まで（営業時間短縮） ※町民のみに利用を限定。 ※土・日閉館 5月17日休館日	庶務課（82-5111）

## 新型コロナウイルス感染症患者の発生に伴う 公立保育所の休止のお知らせ

5月14日（金）、洞爺湖町内の保育所に在籍している幼児1名が、新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

当該保育所の濃厚接触者となる幼児及び職員については、必要な検査が完了しており、全員の陰性が確認されています。保育所休止の期間は、今後の経過観察も含めて関係機関と確認を行い再開の日程を決定することとしております。

皆様には、感染した幼児及び家族等に対する差別や偏見、誹謗中傷がないよう人権尊重・個人情報保護に十分にご理解とご配慮をお願いいたします。

# 胆振管内の皆様への緊急メッセージ

道内の新型コロナウイルス感染症の感染状況は、新規感染者数が5月13日に712人と過去最多を更新するなど、全道に感染が急速に拡大しており、厳しい感染状況や医療提供体制を踏まえ、5月14日、本道は緊急事態宣言の対象区域とされ、本日より緊急事態措置が適用されることとなりました。

こうした中、胆振管内においても、昨日現在、8日連続で二桁の新規感染者が発生し、人口10万人当たりの感染者数が、道の警戒ステージ5の「25.0人/週」を大きく上回る「39.8人/週」と過去最多となるなど、危機的な状況が続いています。

感染経路の特徴としては、家庭内感染が多く、マスクなしの飲食やカラオケなど、リスクが高い場面で感染した方が同居する家族や職場内に感染を広げてしまう事例も見受けられます。

また、本道の医療提供体制は「北海道医療非常事態宣言」が発出され、医療の限界とも言える状況となっており、これ以上、感染が広がり医療機関の負担が増えることとなると、通常の怪我や救命救急の医療が受けられなくなるなど、医療提供体制の崩壊につながります。

医療提供体制を守り、また、何よりも自分自身や大切な人の命とくらしを守るため、お一人お一人が、これまでの取組を今一度見つめ直し、人と人の接触機会を徹底的に低減するとともに、基本的な感染防止行動を徹底いただくよう、改めてお願いします。

## 1 不要不急の外出や移動を控えてください

- 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものを除き、外出や移動を控えてください。
- 生活や健康の維持のために必要な外出や移動であっても、混雑している場所や時間を避けて、必要最低限の人数で行動してください。

## 2 基本的な感染防止行動を徹底してください

- マスクの着用に加え、手洗いや手指消毒の徹底など、基本的な感染防止行動の更なる徹底をお願いします。

## 3 飲食の場面における感染リスクを低減する行動を徹底してください

- 食事は「黙食」で少人数とし、感染防止対策が徹底されていない飲食店等や営業時間短縮に応じていない飲食店等の利用を控えてください。

令和3年(2021年)5月16日

胆振総合振興局長	谷内浩史	壮瞥町長	田鍋敏也
室蘭市長	青山剛	白老町長	戸田安彦
苫小牧市長	岩倉博文	厚真町長	宮坂尚市朗
登別市長	小笠原春一	洞爺湖町長	真屋敏春
伊達市長	菊谷秀吉	安平町長	及川秀一郎
豊浦町長	村井洋一	むかわ町長	竹中喜之